



令和7年度会務・会計中間報告



令和7年度 日本弁理士クラブ 事業計画

幹事長 長 濱 範 明

I. 基本方針

- (1) 日本弁理士会の会務運営(人事・政策)を支える。
- (2) 一体となって本年度の弁理士会役員選挙に臨む。
- (3) 知財制度、弁理士制度及び弁理士の環境改善について積極的に提言する。
- (4) 日弁構成会派の連携強化を図る。
- (5) 魅力ある組織をめざして活動する。

II. 本年度の幹事会の活動方針

基本方針「(5) 魅力ある組織をめざして活動する。」の一環として、本年度の幹事会は以下の方針を共有して活動する。

ENJOY！日弁
～日弁の活動に関わる全ての会員が
「関わって良かった」
と実感できる活動を目指して～

* 日弁の活動には少なからず時間と労力を要する。そのような活動に前向きに取り組んでいくうえで、活動する本人が「活動して良かった」と実感できることが大切である。

また、日弁の行事等に参加してくれた会員が、今後も日弁の活動に前向きに参加するようになるために、行事等に参加した会員が「参加して良かった」と実感できることが大切である。

本年度の日弁の活動を通じて、日弁を盛り上げ、自信をもって次年度に引き継いでいくために、日弁の活動に関わる全ての会員が「関わって良かった」と実感できるようにすることを強く意識して活動する。

III. 組織および運営

1. 総 会 (定時総会 2回)
 - 第1回 2025年 3月26日 (水)
 - 第2回 2025年11月20日 (木) 予定
2. 例 会 (弁理士会総会・常議員会等への対策として適宜開催)
3. 幹事会 (原則として毎月第3月曜日、その他必要に応じて随時開催)
 - 第1回 2025年 1月20日 (月)
 - 第2回 2025年 2月17日 (月)
 - 第3回 2025年 3月17日 (月)
 - 第4回 2025年 4月21日 (月)
 - 第5回 2025年 5月19日 (月)
 - 第6回 2025年 6月16日 (月)
 - 第7回 2025年 7月14日 (月)
 - 第8回 2025年 8月18日 (月)
 - 第9回 2025年 9月22日 (月) 予定
 - 第10回 2025年10月20日 (月) 予定
 - 第11回 2025年11月17日 (月) 予定
 - 第12回 2025年12月15日 (月) 予定
4. 正副幹事長会 (必要に応じて随時開催)
5. 相談役会・常任相談役会(必要に応じて随時開催)
 - 第1回 2025年 3月12日 (水)
 - 第2回 2025年 8月22日 (金)
 - 第3回 2025年11月頃 予定

IV. 活動

1. 総会・例会の開催・運営
2. 相談役・常任相談役の選任
3. 相談役会の開催
4. 委員会の委員選任・諮問事項の決定
5. 人事の調整・決定
6. 行事の企画・立案・実行 (五派交流イベントを含む)
7. 日本弁理士会 (関東会を含む) 委員会委員の推薦

8. 日本弁理士会との連携・協議・調整
9. 会内各派との連携・協議・調整
10. 会外団体との連携・協議・調整
11. その他
 - (1) 昨年度は月1回1時間のペースで幹事長及び政策委員長が会長及び官房役副会長と意見交換していたが、本年度は西弁（幹事長+1名）及び連合（幹事長+1名）が加わって三派で同様の意見交換を実施する。

V. 委員会等活動

1. 政策委員会

- ①【委嘱】日本弁理士会執行役員会への政策的サポート（事業計画、総会議案等）
- ②【委嘱】日本弁理士会又は日本弁理士クラブ幹事会からの検討依頼事項への対応
- ③【委嘱】鈴木一永会長のR6年度の政策概要、重点政策項目（R4,5年度分を含む）、人事協力状況（R4,5,6年度分を含む）のまとめ（HPのアップデート）
- ④【委嘱】日本弁理士会のあるべき姿と長期的政策（10年後を見据えて）の検討

*①に関し、3月までは、日弁擁立の鈴木一永役員会の集大成となる政策の実現に向けて全面的にサポートする。

*①に関し、4月からは、初の西日本弁理士クラブ擁立の会長となる北村修一郎役員会の政策実現に向けて、数多の会長を擁立し弁理士会を支えてきた日弁の知識と経験をもって全面的にサポートする。

その一環として、適当な時期に北村修一郎役員会の事業計画について中間報告を受け、意見交換する機会を設けることを検討する（その機会を三派で実現することも視野に入れる）。

*④に関し、昨年度は「社会貢献活動の活性化」について執行役員会に意見書を提出したが、本年度は別のテーマについて引き続き検討し、何らかのアウトプットができるように注力する。弁理士会が将来目指すべき方向性について、日弁として引き続き検討することが大切である。

2. 協議委員会

- ①【委嘱】令和8年度日本弁理士会役員定時選挙への対応
 - ②【委嘱】日弁各派における選挙の事前準備と投票依頼活動についての情報収集と、有益情報の日弁各派への共有
- *②に関し、各派の秘密事項や独自性もあろうが、日弁全体としての得票数の増加に資するため、得票数の増加に有効と思われるノウハウを差し支えない範囲で開示してもらい、できるだけ日弁各派で共有する方向で検討する。

3. 研修委員会

- ①【委嘱】日本弁理士会認定外部機関としての研修の企画・立案・実行
 - ②【委嘱】前項以外の研修の企画・立案・実行
 - ③【委嘱】特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会の実施（実施可否の検討も含む）
 - ④【委嘱】研修のホームページへの掲載の検討
- *④に関し、会報広報委員会と連携し、日弁における研修についてタイムリーにホームページに掲載する方向で検討する（日弁各派のオープンな研修についても含めるか検討する）。

4. 会報広報委員会（昨年度までの会報委員会と広報委員会を統合）

- ①【委嘱】会報の企画・制作・発行
 - ②【委嘱】日弁ホームページの管理・更新（会報の掲載を含む）
 - ③【委嘱】日弁行事の会報及びホームページへの掲載
 - ④【委嘱】研修のホームページへの掲載
- *①に関し、例年より発行時期を早める方向（例えば9月発行）で検討する。

*②に関し、政策委員会がまとめる鈴木一永会長のR6年度の政策概要、重点政策項目（R4,5年度分を含む）及び人事協力状況（R4,5,6年度分を含む）についてホームページをアップデートする。

*③に関し、全ての日弁行事を会報に掲載するとともに、タイムリーにホームページに掲載する方

向で検討する。

*④に関し、研修委員会と連携し、研修のホームページへの掲載に対応する。

5. 規約委員会

①【諮問】政策委員長を幹事会の構成に加えること、並びに、幹事長欠けたるとき又は幹事長に事故あるときに政策委員長が幹事長の職務を代行することができるようにすることにつき、日本弁理士クラブ会則（必要に応じて会則運用基準を含む）の改正に関する検討について

②【諮問】副会長候補者推薦基準における「配慮されることが望ましい事項」について、実態を考慮して整理すること（特に、「執行理事の経験があること」の扱いを含む）につき、日本弁理士会役員推薦基準の改正に関する検討について

*①に関し、第1回定時総会で承認をとり、本年度から施行できるよう対応する。

*②に関し、第2回定時総会で承認をとり、次年度から施行できるよう対応する。

VI. 行事

1. 次年度執行部（日弁会員）の紹介

2025年3月26日（水）（第1回定時総会后）

2. 旅行会

2025年6月21日（土）～22日（日）

箱根「湯本富士屋ホテル」

3. ゴルフ大会

2025年6月22日（日）箱根「仙石ゴルフコース」

4. 五派交流イベント

2025年7月23日（水）「日弁夏祭り2025～浅草花やしき夜間貸切企画～」

*特に若手の会員も参加しやすく、五派の会員が家族や友人とともに交流できるイベントを企画・実行する。

5. 研修会

2025年9月17日（水）開催予定

特定侵害訴訟代理業務試験対策講座（on-line 講座および通信講座、講師：弁護士・弁理士 石神恒太郎先生）

2025年時期未定

日本弁理士会認定外部機関としての研修を開催予定

6. 役員選挙当選祝賀会

2025年11月20日（木）「霞山会館」開催予定

7. テニス大会

2025年9月27日（土）「高輪テニスセンター」開催予定

*昨年度は会場の関係で開催されなかったが、本年度は、五派から参加者が集まって開催できるよう注力して実行する。

8. 五派リレーマラソン大会

2025年11月16日（日）「第15回ゆりかもめリレーマラソン」に参加予定

*日弁初参加の機会になる会員が比較的多い企画であることと、近年の盛り上がりを考慮し、予算を増額して実行する。

9. ボウリング大会

2025年12月頃 開催予定

*日弁初参加の機会になる会員が比較的多い企画であることと、近年の盛り上がりを考慮し、予算を増額して実行する。なお、参加費をできるだけ減額し、参加しやすくする方向で検討する。

以上



組織と活動

副幹事長 吉田 信彦
(令和7年7月22日現在)

I. 日弁役員

幹事会

幹事長 (春秋) 長濱 範明
 副幹事長 (P A) 杉村 光嗣 [会報広報・五派交流]
 (春秋) 吉田 信彦 [庶務・総会・相談役会・幹事会・協議・規約]
 (南甲) 丸山 陽 [研修・旅行・ボウリング]
 (無名) 竹本 如洋 [政策・テニス・ゴルフ]
 (稲門) 藤坂 恭史 [慶弔・会計・マラソン]
 幹事 (P A) 宗像 孝志 網野 誠彦
 (春秋) 服部 博信 太田 昌孝
 (南甲) 林 裕己 矢島 裕之
 (無名) 原田 耕栄 羽鳥 慎也
 (稲門) 倉持 誠 小池 圭二郎
 会計監事 (P A) 前田 大輔
 (南甲) 井上 佳知

II. 日弁委員会

政策委員会 (担当副幹事長 竹本 如洋)

政策委員長 (無名) 石原 進介
 副委員長 (P A) 渡邊 伸一
 (春秋) 須藤 晃伸
 (南甲) 津田 理
 (無名) 金山 義信
 (稲門) 高橋 英樹
 委員 (P A) 堀籠 佳典 宗像 孝志
 (春秋) 徳本 浩一 藤村 明彦
 (南甲) 河野 生吾 林 剛史
 (無名) 黒川 恵 亀崎 伸宏
 (稲門) 市川 ルミ 筆宝 幹夫

協議委員会 (担当副幹事長 吉田 信彦)

協議委員長 (春秋) 清水 善廣
 副委員長 (P A) 鈴木 大介
 (春秋) 太田 昌孝
 (南甲) 藤沢 昭太郎
 (無名) 本間 博行
 (稲門) 綾木 健一郎
 委員 (P A) 中野 圭二 武田 雄人
 (春秋) 平山 淳 堀田 幸裕
 (南甲) 浅見 浩二 千且 和也
 (無名) 篠原 淳司 久松 洋輔
 (稲門) 西村 公芳 藤坂 恭史

研修委員会 (担当副幹事長 丸山 陽)

研修委員長 (南甲) 大坂 尚輝
 委員 (P A) 亀山 育也
 (春秋) 四野宮 隆紘
 (南甲) 飯村 重樹
 (無名) 増田 綾香
 (稲門) 小田切 康人

会報広報委員会 (担当副幹事長 杉村 光嗣)

会報広報委員長 (P A) 生塩 智邦
 委員 (P A) 谷水 浩一 樋口 喜弘
 岡田 健太郎
 (春秋) 井伊 正幸 古野 裕介
 (南甲) 川村 健人 山崎 由香里
 (無名) 今村 秀世 金森 寛
 (稲門) 綾木 健一郎 伏見 祥子

規約委員会 (担当副幹事長 吉田 信彦)

規約委員長 (春秋) 木戸 良彦
 委員 (P A) 宗像 孝志
 (春秋) 榛葉 貴宏
 (南甲) 津田 理
 (無名) 齋藤 康
 (稲門) 松橋 純裕

Ⅲ. 日弁相談役会 (担当副幹事長 吉田 信彦)

常任相談役 (P A) 渡邊 敬介
(春秋) 清水 善廣
(南甲) 伊丹 勝
(無名) 筒井 大和
(稲門) 杉村 純子

相談役 (P A) 浅村 皓 谷 義一
大西 正悟 岡部 讓
福田 伸一 本多 敬子
(春秋) 佐藤 辰彦 篠原 泰司
木戸 良彦
(南甲) 樺澤 聡 久保 司
高橋 三雄 野本 陽一
真田 有 中村 仁
石橋 良規
(無名) 下坂 スミ子 水野 勝文
鈴木 一永 羽鳥 亘
(稲門) 宇野 晴海

Ⅳ. 日本弁理士会役員

1. 執行役員会

副会長 (P A) 高橋 雅和
(春秋) 高橋 昌義
(南甲) 青木 博通
(無名) 高松 俊雄

執行理事 (P A) 本多 敬子 帯包 浩司
(春秋) 岡本 武也 藤村 明彦
(南甲) 山田 強 服部 秀一
佐藤 雄哉
(無名) 米山 尚志 宮嶋 学
池上 美穂
(稲門) 大貫 敏史 飯塚 健

2. 常議員会

1年度 (P A) 井出 正威 安高 史朗
谷水 浩一 一色 和郎
(春秋) 中村 和広 高橋 祥起
藤木 尚 加曾利 正典
櫛渕 堯彦

(南甲) 石田 正己 松本 了一
丸山 陽
(無名) 黒川 恵 久松 洋輔
(稲門) 綾木 健一郎

2年度 (P A) 山本 修 清水 義憲
武田 雄人
(春秋) 吉田 信彦 河野上 正晴
徳本 浩一 荒井 滋人
垣見 茂樹

(南甲) 蔵田 昌俊 椿 和秀
佐々木 香織 弓削田 博
井上 敬也
(無名) 須藤 雄一 本間 博行
(稲門) 大西 達夫

3. 監事会

1年度 (P A) 神林 恵美子
(春秋) 青谷 一雄
(無名) 貝塚 亮平

2年度 (春秋) 青木 篤
(南甲) 井上 春季
(無名) 峯 唯夫



令和7年度 総会承認事項

副幹事長 吉田 信彦

第1回定時総会

日 時 : 3月26日 (水)

18:00-19:20

場 所 : 弁理士会館2AB会議室

総会では、次の議案を審議し、すべて承認されました。

- (1) 令和6年度日本弁理士クラブ事業報告の承認を求める件
- (2) 令和6年度日本弁理士クラブ決算報告の承認を求める件
- (3) 令和7年度日本弁理士クラブ事業計画の承認を求める件
- (4) 令和7年度日本弁理士クラブ予算の承認をを求める件
- (5) 令和7年度日本弁理士クラブ予算の予備費の取り崩しに関し幹事会への一任についての承認を求める件
- (6) 日本弁理士クラブ会則の一部改正の件
- (7) 令和8年度日本弁理士会（関東会を含む）役員推薦に関し幹事会への一任についての承認を求める件



**令和7年度
日本弁理士クラブ
予算の紹介**

令和7年度会計担当副幹事長
藤 坂 恭 史

収入に関しましては、前年度の関係者のご尽力により前年度の繰越金（令和5年度からの繰越金）より多くの繰越金をいただいております。関係者のご尽力に感謝いたします。

支出に関しましては、本年度は会長選挙の年に該当しないため、協議・選対委員会の予算を前年度と比較して減額しております。また、広報委員会に関しては、令和5年度から取り組んでいたホームページの改修等がひと段落して、本年度は、会報・広報委員会に統合されたことに伴い、広報委員会分の予算を前年度と比較して減額しております。その他、幹事会の予算は費用削減を図ることとして前年度より減額しております。

一方で、本年度は、規約委員会を立ち上げることに伴い予算を計上しております。旅行会の予算は、宿泊費等の高騰が継続していることを考慮して引き続き増額しています。またイベント関係では、本年度独自の事業として五派の会員が家族、友人とともに交流できる五派交流イベントの開催を予定しており、日弁五派交流事業費を計上しています。また、例年盛況であるボウリング大会、リレーマラソン大会の補助を前年度と比較して増額しております。

各クラブから頂いた分担金を適切に執行し、日本弁理士クラブの発展のために有効に使用させていただきます。クラブ会員の先生方のご理解・ご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

（単位：円）

収入の部

前年会計からの繰越金	5,645,322
各クラブ分担金	2,500,000
利息	30
R7年活動準備費（前年より）	300,000

合計	8,445,352
----	-----------

（単位：円）

支出の部

例会・総会	200,000
幹事会	400,000
会報広報委員会	1,000,000
協議・選対委員会	300,000
政策委員会	200,000
規約委員会	100,000
広報委員会	0
研修委員会	200,000
日弁五派交流事業費	400,000
相談役会	100,000
旅行会	1,250,000
旅行会ゴルフ大会補助	50,000
ボウリング大会補助	75,000
テニス大会補助	50,000
リレーマラソン補助	75,000
庶務	30,000
慶弔	150,000
渉外・交通	500,000
幹事長渉外費	200,000
PG/WG活動費	0
次年度活動準備金	300,000
予備費	2,865,352

合計	8,445,352
----	-----------



令和7年度 日本弁理士クラブ 政策委員会中間報告

政策委員長 石原進介

1. 委員会の構成

委員長

石原進介（無名）

副委員長

渡邊伸一（P A） 須藤晃伸（春秋）

津田理（南甲） 金山義信（無名）

高橋英樹（稲門）

委員

宗像孝志（P A） 堀籠佳典（P A）

徳本浩一（春秋） 藤村明彦（春秋）

河野生吾（南甲） 林剛史（南甲）

黒川恵（無名） 亀崎伸宏（無名）

市川ルミ（稲門） 筆宝幹夫（稲門）

2. 委嘱事項について

本年度の事業計画において政策委員会に対して委嘱された事項は以下の通りです。

【委嘱事項1】

日本弁理士会執行役員会への政策的サポート（事業計画、総会議案等）

【委嘱事項2】

日本弁理士会又は日本弁理士クラブ幹事会からの検討依頼事項への対応

【委嘱事項3】

鈴木一永会長のR6年度の政策概要、重点政策項目（R4,5年度分を含む）、人事協力状況（R4,5,6年度分を含む）のまとめ（HPのアップデート）

【委嘱事項4】

日本弁理士会のあるべき姿と長期的政策（10年後を見据えて）の検討

3. 活動報告（令和7年7月10日迄）

本年度は、令和7年2月26日に第1回委員会が開催され、その後、月1回のペースで委員会を開催し、

上記委嘱事項等について検討及び対応してきました。また、今年度は、定例会以外でも思いついた時に議論したり、また議論の情報量をあげられるように、Discordというチャットツールを使用し、チャットツール上での議論も平行して行っております。但し、Discordを全ての委員が逐一見ているとは限らないので、定例会で情報の共有化が図れるようにしています。

（1）委嘱事項1について

令和7年度弁理士会役員会（以下、「役員会」という）による4月以降のマニフェスト実行状況をウォッチしたり、今後、政策委員会内にて役員会からの中間報告を実施して、そこで意見交換を行うことを検討しています。

また、今年4月以降、4者（会長、官房副会長、日弁幹事長及び日弁政策委員長）に西日本幹事長及び連合幹事長ほかの先生方を加えて、基本的に月1回の意見交換会（議題がなければ不開催）の実施を開始しました。これは、三派説明会の前捌きのな意味合いもあります。

（2）委嘱事項2について

三派説明会等での議題の検討はもちろん、それとは別に役員会による意見聴取についても対応を予定しています。6月初旬には、日本弁理士会執行部が予定していた公正取引委員会との意見交換会にむけた準備メモに対して委員会内でメール及びDiscordを使っての意見聴取を行い、出された意見を列挙したものを執行部に送付しました。

（3）委嘱事項3について

日弁会報広報委員会と連携し、委嘱事項3で示された日弁ホームページの全ての箇所へのアップデートを6月末までに完了しました。日弁会報広報委員会の先生方には迅速にご対応いただきありがとうございました。

（4）委嘱事項4について

日本弁理士会のあるべき姿と長期的政策（10年後を見据えて）の検討については、まずは、検討すべきテーマのテーマ出しの議論からスタートし、「適正な弁理士報酬による職業としての魅力向上（値上げの仕方を含む）」というテーマを検討テーマとして

選定しました。7月の定例会でも活発にご議論いただきましたが、なんらかのアウトプットを出せるように引き続き検討してまいります。

4. おわりに

本年度は、関東地域以外から初めて選ばれた北村修一郎先生が日本弁理士会長を務める最初の年の役員会となります。日弁政策委員会としても、より良い弁理会又は弁理士制度のため、北村役員会からの意見聴取や検討依頼などに積極的に対応していく所存です。

一方で、委嘱事項4（日本弁理士会のあるべき姿と長期的政策（10年後を見据えて）の検討）の議論は、これからの弁理士という職業にとって極めて重要な議論だと思います。普段の弁理士同士の飲み会の場での議論で終わらせるのではなく、日弁という組織にある一つの委員会の場でこのような議論を積み重ねていくことが、今後の弁理士会や弁理士制度をより良いものにしていくことに繋がると信じてやみません。

政策委員会の活動も残り半年間となりますが、今後ともよろしくお願いします。



令和7年度 日本弁理士クラブ 研修委員会中間報告

政策委員長 丸山 陽

本年度は、1) 日本弁理士会の単位が付与される研修、2) 単位付与にかかわらない研修、及び、3) 特定侵害訴訟代理付記試験（以下、「付記試験」という。）対策関連の研修の3つの研修について、開催の検討を行うことに加え、4) 日弁各派のオープンな研修を含む日弁における研修の日弁ホームページへの掲載の検討を行っています。

なお、本年度の研修委員会は、以下の6名の委員で構成されています。例年に比べて委員数を半減させることにより、すべての委員に研修の検討・運営により積極的に関わって頂いています。

研修委員会委員（敬称略）

委員長（南甲） 大坂 尚輝
（PA） 亀山 育也
（春秋） 四野宮 隆紘
（南甲） 飯村 重樹
（無名） 増田 綾香
（稲門） 小田切 康人

1. 単位付与研修会

本年度は、以下の集合研修の企画を検討中です。

日時 2025年10月～11月頃
場所 集合+オンライン
題目 AIに対する欧米・中国・日本における
規制と利活用の行方
～世界の中での日本の立ち位置、進むべき道を探る～
欧米、中国、日本でのAI規制と利活用の現状と今後の動向

2. 付記試験・過去問解析講座

本年度は、昨年度までと同様、弁護士・弁理士の石神恒太郎先生をお招きし、以下の研修の企画を検

討中です。

日時 2025年9月17日（水曜日）
場所 オンライン（Zoom）
題目 「令和5年度第1問、第2問解説」

3. 付記試験・通信講座

上記のオンライン講座とともに、付記試験対策用の通信講座として、令和5年度・令和3年度・令和元年度のそれぞれ第1問、第2問の解説を申込者に提供することを検討しています。

4. その他の研修について

委員会内での協議の結果、単位付与にかかわらない研修については開催を見合わせました。

5. おわりに

本年度の研修委員会の会議は、リアル会議とオンラインミーティングとメール審議とを組み合わせ、開催しています。大坂委員長を始めとして、研修を企画・運営いただいている研修委員会の先生方に、紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

本記事の執筆時点において、未だ研修会を開催できていませんが、集合研修とオンライン研修とを上手く組み合わせる等、開催形式を工夫して、会員の先生方にとって有意義な研修を企画していきたいと考えています。

引き続き、宜しくご願ひ致します。

以上



令和7年度 日本弁理士クラブ 会報広報委員会中間報告

副幹事長 杉村 光 嗣

1. 会報委員会と広報委員会の統合

令和7年度は会報委員会と広報委員会を統合し、会報広報委員会として活動しています。

2. 委員会の構成

令和7年度の会報広報委員会は、以下のメンバー（順不同、敬称略）で構成されています。

委員長

生塩 智邦（P A）

委員

谷水 浩一（P A） 樋口 喜弘（P A）

岡田健太郎（P A）

井伊 正幸（春秋） 古野 裕介（春秋）

川村 健人（南甲） 山崎由香里（南甲）

今村 秀世（無名） 金森 寛（無名）

綾木健一郎（稲門） 伏見 祥子（稲門）

3. 委嘱事項

本年度の事業計画において会報広報委員会に対して委嘱された事項は以下の通りです。

【委嘱事項1】 会報の企画・制作・発行

【委嘱事項2】 日弁ホームページの管理・更新（会報の掲載を含む）

【委嘱事項3】 日弁行事の会報及びホームページへの掲載

【委嘱事項4】 研修のホームページへの掲載

* 委嘱事項2に関し、政策委員会がまとめる鈴木一永会長のR6年度の政策概要、重点政策項目（R4, 5年度分を含む）及び人事協力状況（R4, 5, 6年度分を含む）についてホームページをアップデートする。

* 委嘱事項3に関し、全ての日弁行事を会報に掲載するとともに、タイムリーにホームページに掲載する方向で検討する。

* 委嘱事項4に関し、研修委員会と連携し、研修の

ホームページへの掲載に対応する。

* 本年度は会報委員会と広報委員会を統合したので、「会報委員会と広報委員会の連携（会報のHP掲載、その他の情報共有）」は削除した。

4. 活動報告（令和7年7月までの中間報告）

本年度は、令和7年2月25日（火）の第1回委員会で立ち上げ、会報広報委員会の1年間の活動をスムーズに行うことができるような体制の整備を行いました。第1回委員会には、長濱幹事長、石原政策委員長、生塩会報広報委員長、委員9名と担当副幹事長である杉村光嗣が参加し、活発な意見交換を行いました。

まず、会報については、本年度は例年より発行時期を早めることとし、9月発行を目標とすることを確認しました。例年同様に、各派の担当委員により執筆依頼を行い、スプレッドシートで進捗管理を行うこととしつつ、会報の発行を依頼する東伸企画の担当者と速やかに調整を行うこととしました。

次に、広報については、本年度委嘱事項3に付記されている「全ての日弁行事を……タイムリーにホームページに掲載する」を達成するため、委員長の指揮下で、各派の担当委員から、各派の原稿責任者（各イベントの担当副幹事長）に対して随時原稿作成の依頼を行う体制とすることを確認しました。

本年度も7か月（原稿執筆時点）が過ぎましたが、現在までのところ、第1回委員会で確認した体制に従ってホームページの更新を順調に進めることができていると思料します。実働して下さっている会報広報委員の先生方をはじめとする会報広報関係者の皆さまに深謝申し上げます。残りの数か月もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以 上



令和7年度 日本弁理士クラブ 規約委員会中間報告

規約委員会担当副幹事長
吉田 信彦

本年度、日本弁理士クラブでは、規約委員会を立ち上げ、日本弁理士クラブの規約改正について審議を進めています。

1. メンバー

規約委員長：木戸 良彦（春秋）

担当副幹事長：吉田 信彦（春秋）

委員：

宗像 孝志（P A）

榛葉 貴宏（春秋）

津田 理（南甲）

齋藤 康（無名）

松橋 純裕（稲門）

2. 諮問事項

本年度の事業計画において、規約委員会に諮問された事項は次のとおりです。

諮問1：政策委員長を幹事会の構成に加えること、並びに、幹事長欠けたるとき又は幹事長に事故あるときに政策委員長が幹事長の職務を代行することができるようにすることにつき、日本弁理士クラブ会則（必要に応じて会則運用基準を含む）の改正に関する検討について

諮問2：副会長候補者推薦基準における「配慮されることが望ましい事項」について、実態を考慮して整理すること（特に、「執行理事の経験があること」の扱いを含む）につき、日本弁理士会役員推薦基準の改正に関する検討について

3. 活動報告

2025年2月12日 第1回規約委員会

長濱幹事長からの諮問説明を受け、木戸委員長が作成した改正案のたたき台をもとに審議を行いました。

諮問1では、政策委員長を幹事会の構成員とすることや、幹事長に事故があった際における職務代行について検討しました。

諮問2では、副会長候補者推薦基準の見直しについて議論を行いました。

2025年3月10日

諮問1に関する答申書を提出しました。

2025年3月26日 令和7年度第1回定時総会

諮問1に関する議案「(6) 日本弁理士クラブ会則の一部改正の件」が承認され、即日施行されました。

2025年6月30日 第2回規約委員会

諮問2について、各会派の協力を得て行われた、現行の副会長候補者推薦基準および改正案の各々における令和1～7年の副会長候補者の適合性の調査結果を踏まえ、改正案の再整理を行いました。

規約委員会は、副会長候補者推薦基準の明確化と実態との整合を図るべく、今後も各会派との連携のもとで議論を継続してまいります。

令和7年度春の叙勲・褒章受章者

【叙勲のうち桐花大綬章】

桐花大綬章 菅 直人

【叙勲のうち旭日章】(弁理士業務功労)

旭日双光章 吉田 稔

旭日双光章 金本 哲男

【叙勲のうち瑞宝章】(元 知財高裁所長)

瑞宝重光章 清水 節

【叙勲のうち瑞宝章】(経済産業行政事務功労)

瑞宝中綬章 小池 勇三

瑞宝中綬章 南 孝一

瑞宝小綬章 飯野 茂

瑞宝小綬章 吉水 純子

【褒章】(弁理士業務功績)

黄綬褒章 尾崎 隆弘

(敬称略)



令和7年度 日本弁理士クラブ 旅行会報告

令和7年度旅行会担当副幹事長
丸山 陽

令和7年6月21日（土）から22日（日）にかけて、日弁旅行会が神奈川県箱根湯本にて開催されました。宿泊は箱根湯本駅からほど近い「湯本富士屋ホテル」で行われ、初夏の穏やかな気候の中、111名が集まり、親睦を深める充実した2日間となりました。

1. 宴会

記念撮影の後、午後6時からホテル本館2階「赤富士」にて宴会が始まりました。

長濱範明幹事長からの挨拶に続いて、日本弁理士会会長 北村修一郎先生、西日本弁理士クラブ幹事長 村上太郎先生、弁理士連合クラブ幹事長 茜ヶ久保公二先生から来賓ご挨拶を頂戴し、乾杯のご発声は相談役の鈴木一永先生により行われました。

歓談中には、箱根芸妓による演舞を楽しみ、各派メンバーの紹介も行われ、和やかな雰囲気の中で交流が深まりました。



2. 二次会・三次会

午後8時からはレインボープラザ2階「箱根西」にて二次会が開催され、102名もの方が参加されまし

た。恒例の「幹事長対抗カラオケ大会」では、ステージの上で歌い大いに盛り上がりました。

続いて午後10時からは本館6階の2室にて三次会が行われ、深い時間まで語り合いました。



3. ゴルフ大会・観光

2日目は、希望者によるゴルフ大会と観光が行われました。

ゴルフ大会は「富士屋ホテル仙石ゴルフコース」にて、全9組・35名が参加しました。

観光は、24名が参加し、関所跡の見学、芦ノ湖での遊覧船、芦ノ湖キャンプ村でのBBQ、そして三島スカイウォークの散策をしました。関所跡では、史跡の見学だけではなく、時代劇コメディの実演もあって楽しめる施設でした。芦ノ湖遊覧船は当日の強風により一時欠航になっていましたが、乗船予定時刻に運航再開して何とか乗船できたもののデッキはかなりの強風でした。BBQは高気温により室内開催になってしまいましたが、どこで食べようとも美味しくければ大満足です。三島スカイウォークは、長さ400 m、高さ70.6 m、主塔高さ44 m、歩道幅1.6 mの人道吊り橋です。吊り橋の上もやはり強風で恐怖しました。



4. おわりに

今回の旅行会は、参加者の皆様のご協力により、大きな事故もなく無事に終了いたしました。参加された皆様の笑顔が印象的であり、親睦を深める機会となりました。来年度の開催も、今から楽しみです。



令和7年度 日本弁理士クラブ ゴルフ大会報告

令和7年度ゴルフ大会担当副幹事長
竹本 如洋

今年度の日弁ゴルフ大会は、6月21日から一泊二日で開催された日弁旅行会（@箱根湯本）にあわせて、6月22日に富士屋ホテル仙石ゴルフコースにて開催いたしました。仙谷ゴルフコースは、関東で一番古く、全国でも二番目に古いパブリックコースであり、歴史ある美しいゴルフコースでした。

天気は雨の予報ではありましたが、前半の組までは雨に降られることもなく、ぎりぎりまで耐えて涼しい日和となりました。

本年も、西日本弁理士クラブ、弁理士連合クラブの先生方にもご参加いただき、参加者は合計35名OUT5組・IN4組の計9組で、例年通り、新ペリア方式のハンデ戦で行われました。

尹辰薫先生は、日弁旅行会のために韓国から来日され、見事に優勝を果たされましたが、生の松坂牛を韓国に持ち帰ることができないということで、参加者全員でじゃんけん大会を行い、勝者である吉田倫太郎先生に、松坂牛を贈与されました。主な受賞者は次の通りです（敬称略）。

- 優勝：尹 辰薫
- 1位：村田 実
- 3位：長濱 範明
- 5位：小越 一輝
- 10位：小澤 壯夫
- 15位：小谷 昌崇
- 20位：小西 恵
- 25位：河野上 正晴
- ベスグロ：村田 実

賞品は、優勝の松坂牛の他、ベスグロには、箱根湯本ホテルのクッキー、ドラコン・ニアピンには、同ホテルのストロベリージャム、マーマレードジャム、ブルーベリージャム、シトラスはちみつの中から、好きなものを選んでいただきました。

ゴルフ大会をご支援いただいた先生方には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

以上





令和7年度 日本弁理士クラブ 五派交流イベント 「日弁夏祭り2025」の報告

副幹事長 杉村 光嗣

1. 日弁夏祭り2025

7月23日(水)に日本弁理士クラブ五派交流、家族・友人参加型イベント『日弁夏祭り2025』を開催しました。

本年度の事業計画には「特に若手の会員も参加しやすく、五派の会員が家族や友人とともに交流できるイベントを企画・実行する」とあります。これを本年度の活動方針である「ENJOY！日弁」の元で具現化したものが『日弁夏祭り2025』です。

具体的には、①浅草花やしきを貸し切り（アトラクション全15機種乗り放題！）、②遊園地らしい・浅草らしい食事と飲み放題のドリンクで、五派の交流の場を提供しました。また、本イベントは日弁会員が③家族や友人等と一緒に参加可能なものとし、事務所・会社の同僚の皆さんや日弁会員以外の弁理士にも参加いただけるようにしました。

2. 参加人数等

参加費は、後述のとおり多くの協賛金をいただいたおかげもあって【大人（18歳以上）5000円／子供（5～17歳）2000円／幼児（4歳以下）無料】という比較的参加しやすい価格に設定することができました。

その結果、最終的な参加者はなんと【合計406名（大人271名、子供113名、幼児22名）】という大人数になりました！過去の日弁のイベントの中でも最大級の集客数ではないかと思料します。

3. 運営スタッフ

企画、事前準備から当日の運営までの全てを令和7年度日弁幹事会のメンバーで行いました（なお、当日の受付は春秋会の荒井先生にもご協力いただきました。）。

これまで前例のないイベントであったため、スムー

ズな開催のためにどうすれば良いのか、日弁幹事会のメンバー内では昼夜を問わず活発な議論が行われました。例えば、当日の入場開始は18：30からで、イベントは18：45に開始します。15分間に400名近くの受付を完了する必要があるのです。運営スタッフはもちろんフル稼働して対応しますが、より迅速で確実な受付を行うために、実はいくつかの工夫をしています。ご興味があれば是非、当日活躍した運営スタッフ（令和7年度日弁幹事会のメンバー）にお尋ねしてみてください！（なお、受付のみならず例えば食事チケット制など、イベントの随所に工夫が凝らされています。）

4. 当日の様子

イベントの開始後、担当副幹事長の杉村光嗣から注意点の説明を行った後、まずは日弁幹事長である長濱範明先生から、開会のご挨拶を行いました。



次に、日本弁理士会会長の北村修一郎先生にご挨拶をいただきました。北村会長からはワイン20本&日本酒6本（！）の差し入れも頂戴しました。



その後、日弁常任相談役の清水善廣先生がカウントダウンを行いました。清水先生の「1、2、3、ファイアー！」の掛け声とともにアトラクションが一斉に稼働し、場内の熱気は最高潮に達しました。



そこから約2時間、皆さん思い思いに「日本初の遊園地」を満喫していらっしゃいました。



最後に担当副幹事長の杉村光嗣が終了の挨拶を行い、イベントは21時に終了しました。なお、終了後も興奮冷めやらず、2次会のお店を探しに街を練り歩いた参加者が複数組いらっしゃったとの噂。

5. 協賛金

本イベントの開催にあたっては、特に子供達の参加費を引き下げることができるだけ多くの参加者を募り、稼働機種や食事やドリンクをより魅力的なものにして盛り上げるために、協賛金を募集しました。

イベントに参加した子供に家庭で「弁理士ってすごいだね」と言ってもらえるようにしたい。将来弁理士に興味を持ってもらえる子供を1人でも増やしたい。そういった思いに共感をいただき、多くの先生方にご賛同をいただきました。

本イベントが大成功を取ることができたのは、協賛者の皆さまのおかげです。ご賛同いただいた先生方に改めて御礼を申し上げます。協賛者一覧は日弁ホームページにも掲載されていますので、是非ご参照ください。

6. おわりに

日弁で前例のないイベントの企画・運営には頭を悩ませることも多く、不安もあったのですが、イベント終了後に皆さまから多くの「楽しかった!」の声をお寄せいただき、ホッと胸をなでおろしています。協賛者・運営スタッフ・参加者・その他関係者の皆さま、本当に有難うございました。このイベントが五派の親睦のみならず、若手会員の参加率の向上や、未来の弁理士の増加に少しでも貢献し、あるいはそのきっかけになれば良いなと思っています。

以上

【スポンサーのご紹介】

本イベントの企画運営にあたり、多くのスポンサーの皆さまから協賛をいただきました。誠に有難うございます。スポンサーの皆さまについては、イベント当日改めてご紹介させていただきます。

DIAMOND SPONSOR

【現金】

大西 正悟 先生 本多 敬子 先生
 鈴木 大介 先生 杉村 光嗣 先生

WINDY 先生
 KONISHI NAKAMURA
 SUGIMURA
 Kenji

【弁理士春秋会】

山本 隆之先生 木戸 特許事務所
 藤村 特許事務所 遠藤 特許事務所
 出野 知 先生 高橋 昌義 先生

【スポンサーのご紹介】

DIAMOND SPONSOR

【弁理士春秋会】

昌平 坂特許事務所 山本 隆之先生
 山本 隆之先生 山本 隆之先生

【南甲弁理士クラブ】

伊丹 勝 先生 樺澤 聡 先生
 インテクト国際特許事務所
 筒井 大和 先生
 鈴木 正次 特許事務所

【無名金】

杉村 純子 先生 藤田 高哉 国際特許事務所
 角田 特許事務所 平田 国際特許事務所
 藤坂 恭史 先生

【スポンサーのご紹介】

PLATINUM SPONSOR

【南甲弁理士クラブ】

真田 有 先生

【福岡弁理士クラブ】

綾木 健一郎 先生

GOLD SPONSOR

【現金】

村田 栄 先生 神林 恵美子 先生 高橋 雅和 先生
 赤松 孝広 先生 帯色 浩司 先生 前田 大輔 先生
 生嶋 智利 先生

【南甲弁理士クラブ】

青木 博通 先生 丸山 隼 先生

【無名金】

羽鳥 五 先生 高松 俊雄 先生 矢山 尚広 先生
 黒川 恵 先生 香坂 眞 先生 宮嶋 学 先生
 池上 英樹 先生 峯 龍夫 先生 神田 正樹 先生
 千葉 大一 先生 高橋 隆一 先生 竹本 知樹 先生
 浦浅 竜 先生 金山 廣樹 先生 竹山 尚治 先生

【福岡弁理士クラブ】

榎本 栄俊 先生 細田 浩一 先生



令和7年度 日本弁理士クラブ テニス大会報告

テニス担当副幹事長
竹本 如洋

昨年度は、例年の開催場所である高輪テニスセンターでテニス大会を開催する予定でしたが、10月から長期大規模工事が行われることとなり、開催中止となりました。

本年度も、下期から工事が行われる予定があるとの連絡を受けましたので、日程を早めて、9月27日（土）9：00～13：00に、高輪テニスセンターに予約を取り、令和7年度の日弁テニス大会を開催する予定で準備を進めております。

一昨年の令和5年度は、コロナ禍のため以前から開催していた高輪テニスセンターに併設しているカレーショップが閉店してしまっており、懇親会がありませんでしたが、今回は、以前のカレーショップの場所に新たにオープンしたインド料理店にて懇親会も開催予定です。

2年ぶりのテニス大会の開催を楽しみにしております。

以 上

令和7年度 リレーマラソン大会予定

リレーマラソン大会担当副幹事長

藤 坂 恭 史

過去、2016年の第1回大会からコロナ禍で2回の中
止を経て、例年10月～12月初旬に日弁リレーマラ
ソン大会は開催されています。

本年度は、7月7日（月）のWeb検討会議より、各派
のリレーマラソン担当の先生方と計画を進めています。

（各会派リレーマラソン担当者）

PA：岩見晶啓先生 春秋：杉本将哉先生

南甲：大坂尚輝先生 無名：池上美穂先生

稲門：筆宝幹夫先生

検討会議では、

- ・日弁行事スケジュール
- ・過去大会の状況
- ・出場する大会の選び方、今後の進め方

などを確認して、10月～12月に開催される複数の大
会候補に基づいて意見交換を行いました。幅広い日
弁会員が参加できる大会を選ぶということを念頭
に、種目はハーフリレーマラソンで、チームの参加
者の走る距離を自由に設定できる大会を抜粋して、
更に検討を進め下記大会を決定しました。（前年度と
同じ大会です）

大会名：第15回ゆりかもめリレーマラソン

開催日：2025年11月16日（日）

場 所：東京臨海広域防災公園（有明駅徒歩1分）

本大会は、1週約1.3km×16周（計約21km）を走る
形式で、走る回数や順番は自由に設定できる大会で
す。初心者からベテランまで多くの方々に参加いた
だけるものと思われます。

（なお、本大会はタイム測定が自動計測でない手動
計測であり、順位等結果が出るまでに時間がかかる
という懸念点があります。）

大会後は、居酒屋で表彰、懇親会を行う予定です。
例年とおりリレーマラソン大会が盛大に行われるよ
うに具体的な計画を進めています。



令和7年度
日本弁理士クラブ
ボウリング大会の予定

ボウリング担当副幹事長

丸 山 陽

ボウリング大会の予定

本年度の第46回日本弁理士クラブボウリング大会は、例年同様、12月上旬頃に開催する予定で準備を進めております。

ここで、第46回ボウリング大会の企画・運営メンバーを紹介させていただきます（敬称略）。

須藤 晃伸（春秋）

田浦 弘達（P A）

森 貴信（南甲）

本間 博行（無名）

小池圭二郎（稲門）

本年度のボウリング大会補助は例年よりも多い75,000円の予算を計上して頂いています（昨年度は50,000円）。より一層、参加者の皆様に楽しんで頂ける大会を企画・運営したいと考えております。

以上